

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名児童発達支援・放課後等デイサービスモモの

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|------------------|---|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | | | 時間や活動内容で場所を分けている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 5 | | | 未就学の子の動きをよく見て先回りして動けるような配置にしてほしいです。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 4 | 1 | | 階段・トイレなどバリアフリー化されていない。限られた環境の中、できる限り構造化や視覚支援を用いている。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 5 | | | 毎日、清掃・除菌を行っている。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 3 | 2 | | 日々の振り返りを大切にしている。定期的に会議を行い、業務等についての話し合いも必要。チームとして動けるよう、会議等通して振り返りが必要。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | | | アンケートを配布し、意向を把握、改善に繋げている。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 5 | | | HPの公開を行っている。事業所向け自己評価を行うことで、風通しの良い事業所作りに努めている。 |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 3 | | 1 | 今後の検討課題。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 4 | 1 | | 事業所内研修の充実が必要。 |
| 適切な 支援の 提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 5 | | | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 3 | 1 | | 他機関での心理検査を頂いて活用している。 |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 4 | 1 | | 日々の支援やモニタリングを通して、保護者の方からのご意見やご要望を伺い、ガイドラインに基づいて計画を作成するように努めている。 |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 5 | | | |

| | | | | | |
|--------------------------|--|---|---|--|--|
| | ⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 5 | | | 計画を立てる時から話し合いが出来ている。 |
| | ⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | | | 前年度のプログラムやその時期ならではの行事を参考にしながら話し合って立案している。 |
| | ⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | 5 | | | 児童の発達段階に合わせて、個別活動と集団行動を組み合わせた計画を作成している。 |
| | ⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 5 | | | 職員配置や役割分担の打ち合わせを必ず実施している。口頭の他、ノートで確認しあっている。 |
| | ⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 5 | | | 支援終了後に、その日に関わった職員で振り返りを行っている。送迎などで十分でないときもある。 |
| | ⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | | | 個別記録経過表を作成し、一人ひとりの子どもの状況を時系列で記録するようにしている。 |
| | ⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 5 | | | 保護者との振り返りを行ったうえで見直しを行っている。定期的に個別支援会議を行い、児童の状況把握を行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 5 | | | |
| | ㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 5 | | | 児童相談所、保育園、幼稚園との連携をとっている。 |
| | ㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 1 | 1 | | 対象児童の在籍なし |
| | ㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 1 | 1 | | 在籍なし |
| | ㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 4 | 2 | | 就園先への情報交換、現在行っている支援の申し送りを行っている。 |
| | ㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 5 | | | 申し送りや見学、会議を実施している。 |
| | ㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 5 | | | 札幌市地域支援マネージャーの巡回訪問で定期支援・助言を受けている。 |
| | ㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 4 | | | 公園や外出時に交流する機会がある。 |

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|
| | ②⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 5 | | | 担当職員が参加をしている。 |
| | ③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 4 | | | 送迎時や連絡帳を活用し、情報共有している。 |
| | ③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 4 | 1 | 1 | ペアレントトレーニングは行っていない。必要に応じて、お子さまとの対応方法を話し合っている。 |
| 保護者への説明責任等 | ③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | | | 契約時等に行っている。 |
| | ③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 5 | | | 個別支援計画を作成し、面談を行い同意を得ている。 |
| | ③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | | | 送迎時に会った時にお話したり、連絡帳にて話を聞いている。定期の面談以外でも必要に応じ随時相談を受けている。 |
| | ③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 1 | 2 | 1 | 保護者のニーズに合った活動作りをしていきたい。 |
| | ③⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | | | 頂いた相談や申し入れに対しては、迅速かつ適切に対応している。 |
| | ③⑰ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 5 | | | 毎月、活動プログラム等のおたよりを配布している。連絡事項等は、都度おたよりや電話連絡をしている。 |
| | ③⑱ 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 5 | | | 事業所外に情報を持ち出さないように配慮すると共に守秘義務を尊厳している。保管場所を決めている。 |
| | ③⑲ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 4 | 1 | | 子どもの意見をしっかりと傾聴し、保護者の意見や要望に応えられるような体制を整えている。 |
| | ④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 3 | 2 | | 地域の方も参加できるかき氷パーティーを開催した。 |
| | 非常時等の対応 | ④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 4 | 1 | |
| ④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | | 5 | | | 防災訓練(地震・火災)防犯訓練を月に一回ずつ実施している。 |
| ④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | | 5 | | | 契約時だけでなく、状況が変わった時には教えて頂くようお願いしている。 |

| | | | | | |
|----|---|---|--|--|--|
| ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか | 5 | | | 該当児童はいるが、指示書は無し。保護者より情報をいただき、対応している。アレルギー等調査表にて確認を行い、情報共有している。 |
| ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 4 | | | ヒヤリハットをまとめており、常に職員が閲覧できるようにしてある。 |
| ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | | | 虐待防止委員会を中心に研修会を実施している。 |
| ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 4 | | | 該当している児童なし。身体拘束を行う状況等についての説明は、支援計画に記載してある。 |

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。